

平成29年9月14日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(74回公演)報告
29.9.13 あねとす病院介護老人保健棟 深谷市人見

本日1回目の公演が終わり控室に帰り、冷たいお茶を飲みながら今の公演について話し合い、14時50分からの2回目の公演の準備をしました。

時間になり会場に入ると既に1回目を上回る50人を越える施設利用者の方々と20人程の職員が開演を待っていました。1回目の観客の方より元気のある方が多く、ほぼ全員の方が、職員の方からのクラブの紹介を聞き入っていました。

こちら側からも短い挨拶をしたあと、早速演技に入りました。最初は舂田さんの口上から始まる「南京玉すだれ」です。これまで「南京玉すだれ」を見た人が2～3人いましたがほとんど初めての人で、次々に変化する「玉すだれ」の形に拍手を送ってくれました。

次に自己紹介と各人の得意技を披露しました。「玉すだれ」でつくる各人の形を見て、客席から「屋形舟」とか「手桶」、「モモ」、「鳳凰」、「宝船」、「吊り橋」とか元気な声での回答が返ってきました。次に「きよしのズンドコ節」では職員の方が積極的に協力していただき、「きよし」という大きな掛け声で公演を盛り上げてくれました。

根岸さんの「サザエさん体操」でも4人の職員が赤いエプロンを着て、アレンジした新しい舞いで、楽しさ一杯の会場になっていきました。この舞いは参考にしたいと考えています。

この頃になると会場は一体となり、最後の「東京五輪音頭」では全員の手拍子の中進行し、見せ場である「玉すだれ」で五輪マークをつくって60分にわたる公演が終わりました。

今回の公演は受け入れ態勢が整っており、終始楽しい公演でした。



